

指定管理者評価シート

事業名	※利用料金制度適用事業	所管課(電話番号)	保健福祉局高齢保健福祉部介護保険課(211-2972)
-----	-------------	-----------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	特別養護老人ホーム札幌市稲寿園	所在地	手稲区曙5条2丁目2-21
開設時期	昭和47年1月(平成6年3月改築)	延床面積	3,752.26㎡
目的	老人福祉法に規定する特別養護老人ホーム入居の措置、通所介護及び短期入所生活介護に関する事業を行うほか、介護保険法の規定による、介護老人福祉施設サービス、通所介護、短期入所生活介護、介護予防通所介護及び介護予防短期入所生活介護のサービスを提供する。		
事業概要	利用者の処遇		
主要施設	園長室、事務室、相談員センター、相談室、当直室、ワーカー室、浴室、洗濯乾燥室、研修室、デイルーム、居室(1人部屋10室、2人部屋42室、4人室4室)、厨房、食堂、静養室、医務室、看護師室、機能訓練士室(医務室内)、和室、リネン室、便所、理容室、ポンプ室、倉庫、車庫		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人 札幌慈啓会		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:利用者に対し適切なサービスを提供していくためには、利用者と施設職員との間に継続的な人的信頼関係が必要不可欠であり、指定管理者が変更されると、稲寿園の管理運営に支障をきたす恐れがあるため非公募としている。		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1)施設維持管理業務 (2)老人福祉法に規定する特別養護老人ホーム入居の措置に関する業務、通所介護、短期入所生活介護に関する業務 (3)介護保険法に規定する介護老人福祉施設サービス、通所介護、短期入所生活介護、介護予防通所介護、介護予防短期入所生活介護サービスの提供		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 平成28年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 法人の経営理念である「共生(ともしき)」および当園の施設経営理念に基づく運営を行い、利用者及び家族に対して安心かつ快適なサービスを提供できる施設づくりを目指している。 地域における社会資源の一つとして、多種多様な地域のニーズに可能な限り対応し、求められる施設づくりに努めていく。	研修等を通じて、継続的に理念の周知を図り、利用者及び家族に満足される処遇に努め、地域に根ざした取り組みを行うことが出来た。	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: yellow;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> 仕様書に沿って適切な管理運営がなされている。また、入所者に対して、質の高いサービスを提供するよう努めている点は評価できる。	A	B	C	D
A	B	C	D				

<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>施設への入居に係る待機者の緊急度ランクや、入居決定の順番については札幌市の定める指針に則り、第三者を交えた検討委員会を毎月開催して厳正かつ平等に判断をしている。</p> <p>また、入所対象者が原則要介護3以上であることを踏まえ、適宜、説明を行い、定期的に長期待機者へのフォローアップも行っている。</p> <p>なお、「札幌市稲寿園における平等利用を確保するために」として題して規定を設けた。</p>	<p>毎月、入所検討委員会を開催することで、迅速に入居希望者の待機ランクを決定し、申込者へ通知している。</p> <p>長期待機者の状況確認や新規申込者への説明も随時、実施している。</p>
<p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>法人としての取組を周知するための「さっぽろ慈啓会の環境マネジメント」を回覧するとともに、札幌市が開催した平成28年度EMS研修に当施設の職員を出席させ、その報告会を内部研修として実施するなど、省エネルギーに対する職員の意識向上に努めた。</p> <p>具体的な実践として、ゴミの分別を徹底し、生ゴミ、ダンボール・古紙や使用済トナー、インクカーリッジ等の回収も徹底して行っている。</p> <p>またOA機器の節電・休止モードの活用のほか、事務用品や洗剤は詰替え可能な製品を購入し、コピー用紙、プリンタトナーは再生品を使用している。</p> <p>6月から9月にかけては「クールビズ」を実施し、空調の調整も行った。</p>	<p>職員全体への環境配慮への意識向上を図ることができた。</p> <p>今後も継続して行動できるよう周知徹底していきたい。</p>
<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>副施設長の人事異動に伴い、組織全般の見直し及び強化に取り組んだ。また介護職員を中心に中途退職者が多く生じたことから、ハローワークや人材派遣会社を通じた人材確保に取り組んだ。</p>	<p>管理運営組織の確立及び従事者の確保を図ることができた。</p>
<p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>課長職以上のミーティング(週1回)、拡大役職者会議(月1回)を定期的に開催し、管理運営上の問題点や課題に対する協議を行い、これに基づく運営の円滑化を図った。</p> <p>また、利用者の個々の状況・要望に沿った質の高いサービスを提供するため、定期的なカンファレンスを実施し、職種、職員間での情報共有及び連携に努めた。</p>	<p>管理面での課題に適切に対応するとともに、利用者の日常生活状況や要望を職種間で情報共有し、よりきめ細かなサービスやケアの提供に結びつけた。</p>
<p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <p>第三者による委託業務等については特に問題なく履行されたことを点検確認した。(主な委託業務としては、清掃・洗濯業務、ボイラー保守点検、消防設備保守点検、エレベーター保守点検、自動ドア保守点検等)</p> <p>また、平成29年度からの給食調理業務の委託化に向けた取組みを計画的に進めた。</p>	<p>委託業務については、各業務の見直し等を含め、適切な管理を実施できた。</p>

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 3/22開催	社会福祉法人に求められる「地域における公益的な取組」を考慮に入れた、札幌市稲寿園としての、より意義のある地域貢献のあり方について協議を行った。
<協議会メンバー> 地元町内会役員、さわらび幼稚園、福まち、利用者代表(ボランティア含む)、札幌市	

地域関係者から貴重なご意見を聴くことができた。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

・資金管理については、事業ごとの区分経理を実施しており、公認会計士による外部会計監査を導入している。

財務(資金管理・現金の適正管理)については、適正な管理が実施できた。

・現金等の取扱いについては、経理規程を整備しており、小口現金は日々の業務終了時に残高金種別表を作成している。また、預金に関しては施設口座とは別に利用者負担金等利用料入金口座を設け、管理の徹底を行っている。

▽ 要望・苦情対応

・苦情、要望については随時受付を行う体制を作り、受付窓口、受付者、解決責任者等の情報を重要事項への記載や、施設内の掲示、ホームページへの記載等によりわかり易く明示している。

苦情に対して、問題が長期化されることがなく対応することができた。
内外部の苦情解決会議により、苦情の内容等を職員全体に周知させ、意識向上に務めている。

・直接の申し出だけではなく、「意見箱」を施設内3ヶ所に設置して気軽にご要望を聞き取れる体制を整えている。

・内部での会議のほか、年2回法人本部で「苦情解決第三者委員」を交えた検討会議を開催している。

・直接、申出者に解決方法を掲示できない場合(匿名、投書、メールなど)、専用の掲示板に貼りだすこととしている。

・平成28年度の苦情は、施設サービス関連3件、在宅サービス関連0件の計3件だった。随時、処遇の見直し等を実施したうえで掲示板等にて施設の見解および回答を行ない、全て解決済みである。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

・各職種、部署ごとに入居者および利用者へのケア内容、家族、他機関等との連絡調整や相談対応を行った記録を整備している。

自施設のサービスにつき、常に客観的な視点での評価が必要なため、毎年度、自己評価や情報公開を行い、評価内容を開示している。

・年度ごとの事業計画書、事業報告書を作成している。

・「情報公表制度」による施設の処遇、サービス内容等の公開を実施している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道・札幌市の指針による施設自己評価を実施。 ・入居者に対する満足度アンケートを行い、その結果は掲示および郵送等により入居者、家族へご報告している。 	<p>アンケート結果については、職員にも回覧し、意見や要望を周知させている。さらに、処遇改善委員会等での検証およびサービスの質の向上に向けた取り組みを実施している。</p>									
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設で働く職員に対し、最低賃金786円(平成28年10月1日発行)を上回る810円以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜業をさせた場合、それぞれ法定割合の割増賃金を支払った。 ・施設で働く職員は、1週40時間、1日8時間を順守するとともに時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。 ・全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ・労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出等を行った。 ・雇入れ時に、健康診断を実施するとともに、毎年1回定期健康診断を実施している。深夜業に従事する労働者には、6か月に1回の定期健康診断を実施した。 ・労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。 ・指定管理者の申込時に提出した、ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。 ・労働安全衛生法に基づき、衛生委員会を毎月1回開催するとともに、法人によるストレスチェックを実施し、面談等窓口を設置した。 	<p>法令順守に努め、夜勤業務のある職員へは腰痛検査に重点を置いて健康診断を行った。パートタイム雇用の職員が、勤務形態や雇用状況が変更になる都度、社会保険や雇用保険の加入要件に適合するか確認を行った。育児休業・介護休業を取得しやすい職場環境作りに努めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">法令を遵守したほか、職員がサービスの向上などに意欲をもって取り組めるよう労働環境の整備に努めている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	法令を遵守したほか、職員がサービスの向上などに意欲をもって取り組めるよう労働環境の整備に努めている。			
A	B	C	D								
法令を遵守したほか、職員がサービスの向上などに意欲をもって取り組めるよう労働環境の整備に努めている。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「施設総合賠償保険」に加入していると共に、入所者及び利用者の日常生活での安全を確保するため、住環境の改善を行い、事故防止のための委員会を設置し、対策等を検討している。 ・事故防止対応マニュアルを都度改訂し、職員に対する研修(年2回)を実施している。 ・非常時における緊急連絡網を整備し適宜、見直しを行っている。 	<p>事故の発生防止はもとより、再発防止にも重点的に取り組み、特に転倒・転落事故は平成28年度よりも大きく減少した。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">仕様書に沿って管理物件の管理を実施している。また、修繕や保守点検を実施し、利用者等の安全確保に努めている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	仕様書に沿って管理物件の管理を実施している。また、修繕や保守点検を実施し、利用者等の安全確保に努めている。			
A	B	C	D								
仕様書に沿って管理物件の管理を実施している。また、修繕や保守点検を実施し、利用者等の安全確保に努めている。											

	<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃・洗濯、警備、設備機器保守点検業務については、それぞれ委託業者により概ね仕様書どおり実施した。 ・修繕については、見積額が50万円以上の案件について、札幌市と協議を行い、平成28年度はリフト浴設備の交換、スプリンクラーポンプの改修工事を実施した。少額又は緊急な案件については、法人経理規程に従って専門業者による修繕を実施した。 ・備品管理については、管理台帳を都度見直し、経理規定に則って処理している。 <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防計画、避難訓練マニュアルの整備と地域消防署主催による、火災想定での避難訓練に職員が参加した。 ・夜間想定での総合防災訓練と防災協会立ち合いのもと検証訓練を3月に実施した。 ・AED講習会を消防署の協力により5月に実施した。 	<p>保守点検業務については適正に実施しているが、設備の老朽化に伴う修繕、更新については引き続き札幌市と協議を行っていきたい。</p> <p>今後も防災マニュアルを継続的に更新・整備するとともに、災害時における備蓄品の見直し、追加購入を継続したい。</p>									
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 地域住民や学生・生徒に関する学習機会の提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の小中学校に対し、総合学習や職場体験の協力を行った(中学校2校)。 ・福祉系学校等の実習生を受け入れた。 (介護福祉士実習:2校4名) (社会福祉士実習:6校7名) (介護職員初任者研修:0校0名) (介護体験等実習:0校0名) (認知症介護実践者・リーダー研修:2校8名) <p>▽ 施設(老人ホーム)に関する情報収集及び提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月11日入所者の家族に対し、札幌市稲寿園事業説明会を実施。家族は24名出席いただいた。 ・9月9日に行われた「手稲区ふれあいフェスティバル」において区内の住民に向けた施設見学会(地域住民6名)を行い、見学者用車両の送迎対応をした。 <p>▽ 施設(老人ホーム)に関する市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の個人、団体によるボランティア活動を受け入れた。(5団体・1個人:延べ270人) ・隣接する幼稚園との交流会を実施した。(延べ373人) ・施設車両にて、児童の登下校時に「青パト」活動を行った。 ・地域の団体に対し、研修室と地域交流コーナーを開放している(事前の申込が必要)。定期利用団体もあり、地域に周知されつつある。 	<p>近隣住民や学生等に施設を理解していただくため、積極的に受入を行った。今後も継続していく。</p> <p>平成28年9月に家族説明会を実施し、資料配布や個別説明を行うなどして、丁寧な対応ができた。</p> <p>近隣住民との交流を含め、積極的に受入を行っている。入居者の地域との接点や地域交流の機会としても有効であるため、今後も継続していく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">事業計画に基づき適切に支援を行っている。近隣住民との交流を行っている点は評価できる。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	事業計画に基づき適切に支援を行っている。近隣住民との交流を行っている点は評価できる。			
A	B	C	D								
事業計画に基づき適切に支援を行っている。近隣住民との交流を行っている点は評価できる。											

	<p>▽ 施設(老人ホームに関する相談業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者、利用者、家族からの相談については随時対応している。 	<p>随時、相談を受け付ける体制を整えている。来園、電話に加え、メール等での相談対応に取り組んでいる。</p>																																				
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="384 456 979 759"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27実績</th> <th>H28計画</th> <th>H28実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">特養居室</td> <td>件数(件)</td> <td>1214</td> <td>1200</td> <td>1213</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>35096</td> <td>35223</td> <td>35238</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>96</td> <td>96.5</td> <td>96.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">短期入所居室</td> <td>件数(件)</td> <td>345</td> <td>350</td> <td>377</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>2399</td> <td>2738</td> <td>2722</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>66</td> <td>75</td> <td>74.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 実績の件数および人数は、各年度の延べ数となっています。</p> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免28件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前面談の早期実施などにより、新規入居者を迎えるまでの期間を1週間以内にするよう短縮を図った。 ・長期入院となる場合には、本人および家族の経済的負担に配慮した対応を心掛けた。 ・入退院の円滑な対応について病院との協働など実施。 ・利用状況など他事業所との情報交換等を実施し、協力関係の構築を図った。 			H27実績	H28計画	H28実績	特養居室	件数(件)	1214	1200	1213	人数(人)	35096	35223	35238	稼働率(%)	96	96.5	96.5	短期入所居室	件数(件)	345	350	377	人数(人)	2399	2738	2722	稼働率(%)	66	75	74.6	<p>今年度は順調に稼働率を保つことができた。短期入所は目標を達成でき、今後は他事業所との協力を図り稼働率の確保を目指す。</p> <p>他事業所との情報交換、地域交流など利用促進については、積極的な活動ができた。昨年度に引き続き今年度も、コミュニティカフェの開催など地域に開かれた活動を実施した。参加者も毎回15~20名程度となり地域に定着しつつある。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>適切な業務を行っている。稼働率を保つよう利用促進に向けて今後も取り組んでほしい。</p>	A	B	C	D
		H27実績	H28計画	H28実績																																		
特養居室	件数(件)	1214	1200	1213																																		
	人数(人)	35096	35223	35238																																		
	稼働率(%)	96	96.5	96.5																																		
短期入所居室	件数(件)	345	350	377																																		
	人数(人)	2399	2738	2722																																		
	稼働率(%)	66	75	74.6																																		
A	B	C	D																																			
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回広報誌「稲寿園だより」を作成し、関係団体、協力機関、身元引受人等に送付するとともに、ホームページにも掲載した。 ・施設内ホールに広報紙を置き、来園者の皆様に見ていただいた。 <p>▽ 引継ぎ業務 (前回から継続指定のため、引継業務なし)</p>	<p>広報内容として、地域活動やショートステイコンシェルジュ配置など新たな取り組みの紹介を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>継続して当該広報活動を実施し、新たな活動内容をPRしている。</p>	A	B	C	D																															
A	B	C	D																																			
<p>2 自主事業その他</p>																																						
	<p>▽ 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設入所者の社会生活の一環として、営利を目的とせず定価より安価な価格設定の飲料水自動販売機2台を設置している。入居者の好みや新商品を取り入れながら、栄養機能食品などを中心に商品の入れ替えを行っている。 ・自動販売機を省エネタイプに切り替えた。 	<p>好評により今後も継続する。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>札幌市の施策に沿った業務を行っている。</p>	A	B	C	D																															
A	B	C	D																																			

<p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>障がい者授産施設への以下の発注・受入を積極的に行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源物回収業務委託 ・入所者の昼食用パンを定期的に購入 ・訪問販売(パンなど)の受入 ・広報紙、封筒など印刷物作成依頼 	<p>好評により今後も継続する。</p>						
<p>3 利用者の満足度</p>							
<p>▽ 利用者アンケートの結果</p>							
<p>実施方法</p>	<p>・平成28年11月に入所者の身元引受人、家族に対し、用紙記入方式で実施した。</p>	<p>アンケートの形式での調査実施は毎年実施しており、入所者、家族からの率直な要望や意見をいただくようになっている。</p> <p>アンケート結果を把握した上で施設運営における改善、見直しを図った。また、頂いた要望、意見についての回答を報告書に記載して配布するなどの対応も行なった。アンケート結果をもとに役職者会議、処遇委員会で結果確認および改善に関する検討を行い、フィードバックを図った。</p> <p>アンケートは今後も定期的実施して、サービスの質の向上に努めていく。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>	A	B	C	D
A	B		C	D			
<p>結果概要</p>	<p>調査対象者96名。回答者数69名。回答率71.9%</p> <p>集計結果は取りまとめ、平成29年4月に施設内で掲示、家族へ郵送する形で公開を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住環境について、満足、まあ満足の回答が、78% ・食事の内容について、満足、まあ満足の回答が、68% ・職員の対応について、満足、まあ満足の回答が、92% ・医療看護体制について、満足、まあ満足の回答が、83% ・自分らしい生活が送られているかについて、送れている、まあ送れているの回答が、77% ・誰にでも気軽に相談できる雰囲気について、満足、まあ満足の回答が、79% ・施設の催し物・レクリエーションについて、満足、まあ満足の回答が、73% ・総合評価では、満足、まあ満足の回答が、86% 		<p>総合満足度が仕様書の求める水準を達成しており、昨年度を上回っている。また、各項目についても概ね昨年度に比べて向上している。</p>				
<p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<p>・住環境について「日中からカーテンがかかっていて薄暗い感じがする」、食事について「見た目が質素。おやつもゼリー、冷凍物が多いように感じられる」等のコメントをいただいたので、職員へ周知し改善点として特に注意していく。なお、給食は平成29年度から外部委託化するため、少しでも満足いただけるよう委託業者と協力して質の高い食事が提供できるよう努力していきたい。</p> <p>・職員の対応について、「入園した時、新しい衣類を持っていったが、そのまま紛失された」との指摘があり、この点については特に注意して今後対応していくこととする。また、「機能訓練の回数もう少しを多くしてほしい」「レクリエーションが少ない」といった運動・娯楽等のご意見については特別養護老人ホームという施設の役割の中で引き続き改善を図っていきたい。レクリエーションについても、地域交流の充実を目指し工夫をしていく。</p> <p>・なお、このアンケート結果を踏まえ、役職者会議、処遇委員会で結果確認および改善に関する検討を行い、フィードバックを図った。</p>						

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	H28計画	H28決算	差(決算-計画)
収入	485,222	490,977	5,755
指定管理業務収入	485,192	490,943	5,751
指定管理費	0	0	0
利用料金	483,404	488,704	5,300
その他	1,788	2,239	451
自主事業収入	30	34	4
支出	483,877	488,380	4,503
指定管理業務支出	483,847	488,350	4,503
自主事業支出	30	30	0
収入-支出	1,345	2,597	1,252
利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	1,345	2,597	1,252

▽ 説明

- ・利用料金収入は、特養部門において前年度に比べ稼働率増となり、計画より5,300千円増となった。
- ・その他収入は、補助金や受託事業収入に係る収入であり、介護ロボット導入支援事業補助金の交付や相談及び介護実習の受入研修費増のため、計画より451千円増となった。
- ・自主事業収入は、自動販売機電気代であり、計画との差額は、4千円増であった。
- ・指定管理業務支出は、光熱水費やおむつリース等の節減に努めた結果事業費は減であったが、給食業務委託移行に係る経費増や職員の昇給等による人件費増、また今年度より賞与分社会保険料について会計監査人による監査実施に伴い「その他活動による支出」(2,550千円)が増となったため、4,503千円増となった。
- ・自主事業支出は、自動販売機使用料であり、計画との差額はなかった。
- ・収支は差引き1,252千円の差額が生じた。

収入の利用料金増額分としては、特養部門での短期空床の利用や退所から新規入所までの空床期間減により、稼働率を維持できたことが大きく影響していると考えられる。

今後については、老朽化に伴う施設設備・備品の入替を継続的に行っていくとともに、特養及び短期部門の利用者の生活環境を整えることにより、稼働率の向上に繋がっていくよう努めたい。

A	B	C	D
<p>昨年度に比べ収支のバランスが良好となっている。今後も収支のバランスに留意し、計画的な運営に努めてほしい。</p>			

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

- ・法人の経営理念「共生」及び当園の施設経営理念、方針に基づく円滑な運営に努め、質の高いサービス提供を行う。
- ・利用者及びご家族に対して快適かつ安心できるケアと住環境を提供することによって満足度を高める。
- ・各稼働率の維持・向上に努め、安定的な経営を維持する。

適	不適
適	不適

<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護条例及び情報公開条例については、法人において個人情報保護規則、情報公開規程を整備しており、暴力団の排除の推進に関する条例については基本理念にのっとり、暴力団員または暴力団関係事業者を相手にしないよう取り組んでいる。 		<p style="text-align: center;">適 不適</p>
--	--	---

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要介護度の重度化がさらに進むとともに、介護職員の中途退職が多かったことから、人材確保と研修強化に努めた。介護職員の業務負担増大に対しては、ケアの質を維持しながら業務の省力化、効率化を図った。 ・介護用ベッドの更新に札幌市の介護ロボット購入に対する補助を活用するとともに、前年度に発生した大規模ノロウイルス感染の反省と検証を踏まえ、徹底した感染症予防対策を実施した結果、感染を皆無に抑えた。 ・前年度収支が賞与引当金を除くと合計で700万を超える大幅な赤字となったことから、各サービスの稼働率の向上、利用者の獲得に全職員挙げて取組を行った。この結果、特別養護老人ホームの稼働率は、前年度の95.9%から96.5%へ、短期入所についても同様に64.9%から74.6%へと向上させ、合計収支は黒字へと回復させることができた。 ・前年度から開始した2つの地域貢献事業の定着化を進めたほか、事業を通じた地元町内会等、地域との連携を推進し、福祉・介護の拠点施設としての機能を高めた。 ・全体として、厳しさを増す運営環境の変化から生じた様々な課題に積極的に取り組み、収支の改善、ケアの質の維持・向上を図ることができたと自己評価しているが、引き続き取り組むべき課題は多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用者の要介護度や認知症の重度化への対応を適切に行い、良質なケアを効率的、効果的に行えるよう、引き続き職員の確保とともに、認知症ケアを始めとする研修の充実、職員間の情報共有・連携の強化、ハード面での環境整備等に努めていく。また、平成27年度から中断しているターミナルケア再開に向けて取り組む。 ・各サービスの稼働率の維持・向上に引き続き努めるとともに、増収策として新たな加算の獲得など安定した収入の確保に取り組む。また、業務委託の見直し等、増大する経費の抑制を進め、より一層の収支改善を進めていく。さらに平成30年度制度改正、報酬改定に向けて必要な対応策を検討し、円滑に対応できるよう取り組む。 ・指定管理施設としての特性を踏まえ、地域における公益的取組として新たに「札幌市生活困窮者就労訓練事業」の実施事業所として認定を受け、就労訓練を実施する。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>多様化する高齢者のニーズに適切に応えられるよう、人材確保や研修に積極的に取り組んでいる。感染予防徹底の成果もあり、ノロウイルス感染の発症はなく、また急務であった収支関係については昨年に比べ良好となっていることから、施設全体の日々の努力がうかがえる。個別評価の結果を踏まえ、より質の高いケアの維持・向上等に引き続き取り組んでほしい。</p>	